

## 奈良市まちづくり市民会議（第1回） 会議資料一覧

- 会議次第
- 奈良市まちづくり市民会議 委員名簿
- 奈良市まちづくり市民会議設置要項
- 奈良市第4次総合計画の策定について
- 奈良市の現況（中核市41都市比較）
- 奈良市まちづくり市民会議（第1回）市の現況についての質問票
- 奈良市の魅力と悩みは何ですか？（記入様式）

### 《参考資料》

- 市長マニフェスト
- 奈良市第3次総合計画【後期基本計画】概要版  
→奈良市ホームページに「奈良市第3次総合計画【後期基本計画】」全文を掲載しています。  
奈良市トップページ (<http://www.city.nara.nara.jp/>) >奈良市の取り組み>総合計画 >奈良市第3次総合計画 後期基本計画
- 奈良市の現況について（冊子）

奈良市まちづくり市民会議（第1回） 会議次第

平成21年10月9日（金）午後7時～  
奈良市役所 北棟6階 第22会議室

- 1 市長あいさつ
- 2 奈良市第4次総合計画の策定について
- 3 奈良市まちづくり市民会議の役割について
- 4 会議のルールについて（グループワーク）
- 5 奈良市の現況について
- 6 今後の会議の進め方について

## 奈良市まちづくり市民会議設置要項

### (設置)

第1条 奈良市第4次総合計画（以下「総合計画」という。）の策定にあたり、市民との協働による計画策定を推進するため、奈良市まちづくり市民会議（以下「市民会議」という。）を設置する。

### (所掌事項)

第2条 市民会議は、総合計画の基本構想策定に係る奈良市の将来都市像、今後のまちづくりの基本的方向等について議論し、市長に報告する。

### (委員)

第3条 市民会議は、委員55人以内で組織する。

2 委員は、次の各号に掲げる者のうちから、市長が委嘱する。

- (1) 市民から公募した者
- (2) 各種団体を代表する者
- (3) 学識経験を有する者
- (4) その他市長が適当と認める者

3 委員が公職にあることにより委嘱をされた場合は、その職を退いたときに委員の職を失うものとする。

### (代表及び副代表)

第4条 市民会議に代表及び副代表1人を置く。

2 代表及び副代表は、委員の互選によってこれらを定める。

3 代表は、市民会議を代表し、会務を総理する。

4 副代表は、代表を補佐し、代表に事故があるとき、又は代表が欠けたときは、その職務を代理する。

### (会議)

第5条 市民会議の会議（以下この条において「会議」という。）は、代表が招集する。

ただし、代表が互選される前に招集する会議は、市長が招集する。

2 会議は、委員の半数以上が出席しなければ、これを開くことができない。

3 議事は、出席委員の過半数でこれを決し、可否同数のときは、代表の決するところによる。

4 代表は、会議の運営上必要があると認めるときは、委員以外の者の出席を求め、その意見又は説明を聴くことができる。

(分科会)

第6条 市民会議に特定の分野についての調査審議を行うため、必要に応じて分科会を置くことができる。

(庶務)

第7条 市民会議の庶務は、企画政策課において処理する。

(補則)

第8条 この要項に定めるもののほか、市民会議の運営その他について必要な事項は、市民会議に諮って、代表が定める。

附 則

(施行期日)

1 この要項は、平成21年6月1日から施行する。

(この要項の失効)

2 この要項は、第2条の規定による報告が行われた日限り、その効力を失う。

附 則

(施行期日)

この要項は、平成21年9月28日から施行する。

## 奈良市まちづくり市民会議 委員名簿

番号	氏名	
1	アカオ タカシ 赤尾 隆	市民公募委員
2	アダルシュ シャルマ	市民公募委員
3	アベ トモコ 阿部 智子	市民公募委員
4	イノウエ マサヨシ 井上 雅由	市民公募委員
5	ウエダ マサヒロ 植田 正博	市民公募委員
6	ウエノ リツグ 上野 登統	市民公募委員
7	エノモト マサノリ 榎本 正範	市民公募委員
8	オカモト タネツグ 岡本 胤継	市民公募委員
9	オクムラ マキコ 奥村 麻希子	市民公募委員
10	キタ ヨシオ 北 良夫	市民公募委員
11	キタウラ ユカ 北浦 由香	市民公募委員
12	キタノ タケヒト 北野 剛人	市民公募委員
13	キムラ ユウコ 木村 宥子	市民公募委員
14	クマノ イソカズ 熊野 磯一	市民公募委員
15	コジマ ミチコ 小島 道子	市民公募委員
16	コニシ カンジ 小西 完治	市民公募委員
17	ササベ カズオ 笹部 和男	市民公募委員
18	サトウ マサユキ 佐藤 正幸	市民公募委員
19	サマン ペレラ	市民公募委員
20	サワサキ カゾウ 澤崎 嘉造	市民公募委員
21	シタン ダ キョウスケ 四反田 喬典	市民公募委員
22	シンドウ ヨシノリ 新堂 順規	市民公募委員
23	タカマツ ノリマサ 高松 典正	市民公募委員
24	タキタ 田北 ますみ	市民公募委員
25	タケムラ トシヒロ 武村 俊宏	市民公募委員
26	タダ ミツロウ 多田 充朗	市民公募委員
27	タナカ ヒロシ 田中 浩	市民公募委員

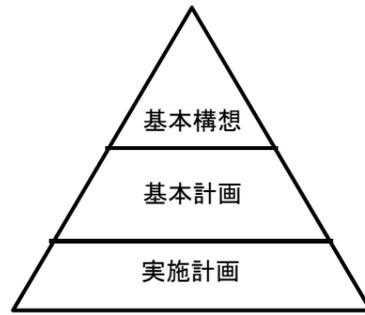
## 奈良市まちづくり市民会議 委員名簿

番号	氏名	
28	タナカ ヤスオ 田中 保夫	市民公募委員
29	タニ コウゾウ 谷 幸三	市民公募委員
30	タンダ ヒロトシ 反田 博俊	市民公募委員
31	トモダ タツロウ 友田 達郎	市民公募委員
32	ナカガワ トオル 中川 徹	市民公募委員
33	ナカニシ アキラ 中西 輝	市民公募委員
34	ハシモト ミツオ 橋本 光男	市民公募委員
35	ハセガワ ヨウジ 長谷川 庸司	市民公募委員
36	ハタナカ タダシ 畑中 忠司	市民公募委員
37	ハマ アサコ 濱 朝子	市民公募委員
38	ハマ ケイスケ 濱 恵介	市民公募委員
39	ハルタ ミノル 春田 稔	市民公募委員
40	ホンマ コウキ 本間 香貴	市民公募委員
41	マツナガ ヨウスケ 松永 洋介	市民公募委員
42	マツモリ シゲヒロ 松森 重博	市民公募委員
43	ミヤモト イクエ 宮本 郁江	市民公募委員
44	ムラタ カツヒコ 村田 勝彦	市民公募委員
45	モトジマ ミツヨシ 元島 満義	市民公募委員
46	モリグチ テツヤ 森口 哲也	市民公募委員
47	ヤマモト ソ ヨ 山本 素世	市民公募委員
48	ヤマモト ヨシノリ 山本 善徳	市民公募委員
49	ヨシズミ シュウ 吉住 秀	市民公募委員
50	ヨシダ トシオ 吉田 俊夫	市民公募委員
51	リョウ ミチコ 寮 美千子	市民公募委員
52	ワタナベ シンイチ 渡邊 新一	市民公募委員

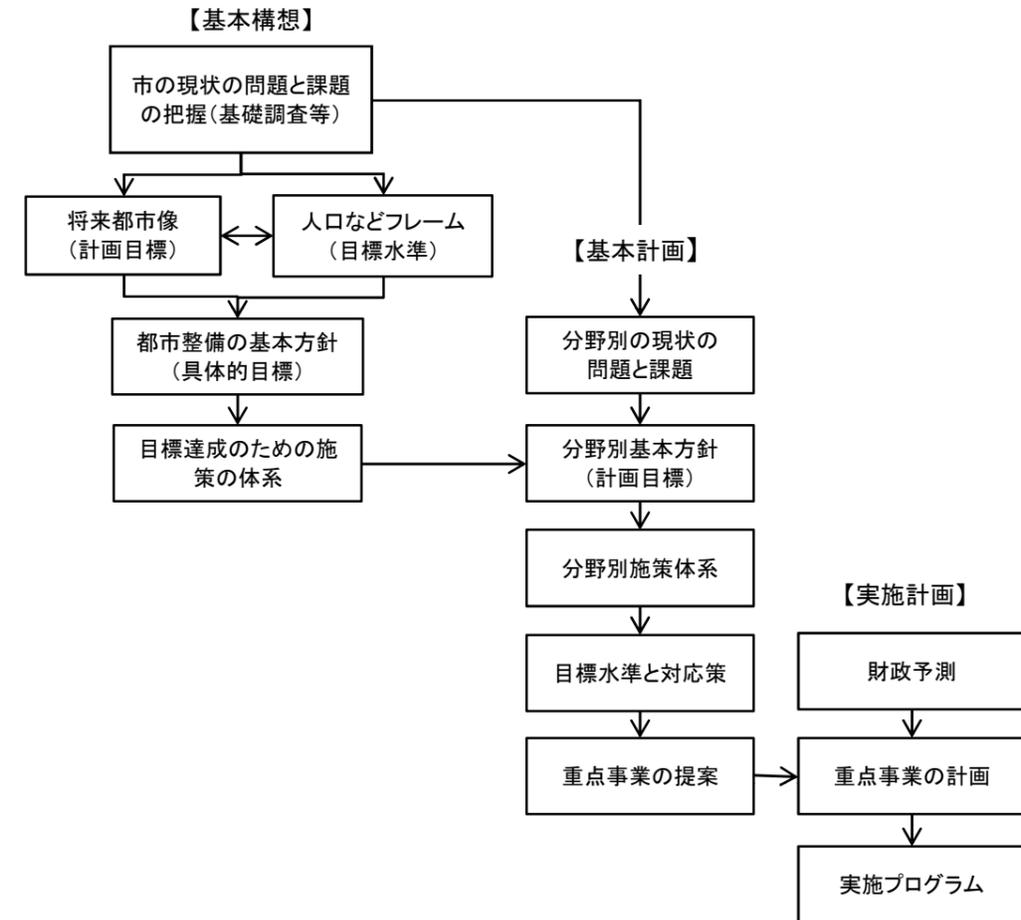
(50音順)

# 奈良市第4次総合計画の策定について

## 1. 総合計画の構造

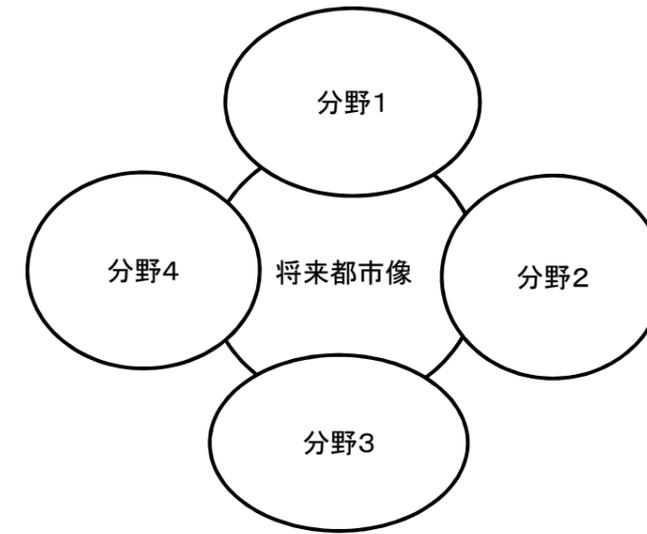


## 2. 総合計画の策定過程(従来の手法)

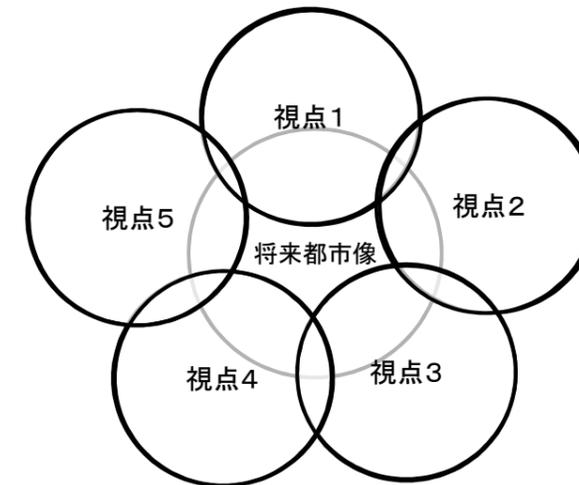


- 従来は、
  - ① 総合計画は行政の計画であり
  - ② 基礎調査の段階での市民意識調査、基本構想の案・基本計画の案がある程度完成した段階でのパブリックコメント(意見募集)が、総合計画に市民の意見を反映する主な手段だった
  - ③ 出来上がった計画の実現は、行政が担保していた
- これからは、
  - ① 総合計画は行政だけの計画ではなく、市民とともにまちづくりを進めるための計画となる
  - ② そのために、計画策定のあらゆる段階で、市民の意見を聞く必要がある。

## 3. これまでの総合計画とこれからの総合計画(イメージ)



【これまでの総合計画】  
 ・ 行政の視点(主に分野)から施策を体系化



【これからの総合計画(イメージ)】  
 ・ 市民の視点から施策を体系化  
 ・ 一つの視点の中に複数の分野が含まれることもある



【奈良市まちづくり市民会議の役割】  
 ・ 将来都市像

# 奈良市の現況

(中核市 41都市比較)

中核市の比較を行っている項目は中核市

## 人権の尊重、文化の創造、 教育の充実を進めるまちづくり

幼稚園数(市立+市立以外)56園:7番目  
小学校数( " + " )53校:23番目  
中学校数( " + " )28校:17番目  
図書館蔵書冊数(市民100人あたり)160.9冊:31番目

## 環境保全と 安心・快適なまちづくり

公園(市民1人当たり面積)19.7㎡:3番目  
上水道(人口普及率)99.6%:12番目  
下水道(人口普及率)90.3%:10番目  
リサイクル率10.5%:35番目  
消防車保有台数58台:27番目

## 福祉のまちづくり

保育所数(市立+市立以外)45ヶ所:34番目  
人口10万人当たり病床数1,172.7床:33番目  
人口10万人あたり医師数201.1人:28番目

奈良市第3次総合計画

将来都市像

「世界遺産に学び、  
ともに歩むまちーなら」

## 地域を支える産業を 育成するまちづくり

小売業商店数伸び率0.8%:3番目  
工業事業所数伸び率△7.8%:32番目  
産業別事業所数 一次 8所:37番目  
二次 1,333所:39番目  
三次 10,485所:37番目

### 参考

合計特殊出生率(H19年)1.14  
※奈良県1.22(47都道府県のうち44番目)  
※全国1.34  
国宝126件、重要文化財600件 (H21.3.31現在)  
※国宝・重要文化財指定件数(H19.1.1)  
奈良県1,387件(47都道府県のうち3番目)  
文化庁「国宝・重要文化財等都道府県別指定件数一覧」から

### 市勢

H19人口対前年伸び率△0.3%:30番目

### 財政

H19年度決算 経常収支比率98.4%:40番目

**奈良市まちづくり市民会議（第1回） 市の現況についての質問票**  
**（質問受付締切：10月16日（金））**

市の現況について質問がある場合は、この質問票を10月16日（金）までに事務局（奈良市企画政策課）にお送りください。

（ファクシミリ：0742-34-4900、電子メール：kikakuseisaku@city.nara.lg.jp）

様式の Word データをご入り用の場合は、事務局にご連絡ください。

お名前

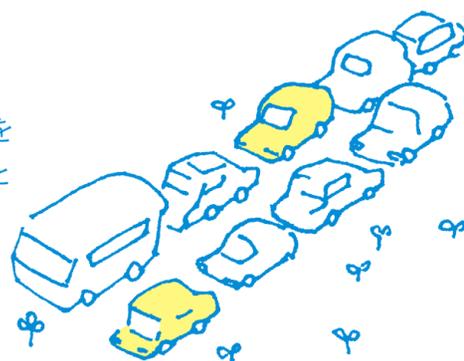
質問タイトル：	冊子「奈良市の現況について」 に関する質問の場合	
	該当ページ	ページ
内容：		
質問タイトル：	冊子「奈良市の現況について」 に関する質問の場合	
	該当ページ	ページ
内容：		
質問タイトル：	冊子「奈良市の現況について」 に関する質問の場合	
	該当ページ	ページ
内容：		





### ゼロ宣言3

1000年後も安心して住み続けることができる都市をめざします。観光政策をハードからソフト中心へと転換し、環境に配慮したまちづくりを行います。



市内公共交通機関の1割を、エコ化します。

市内運行バスのCNG(圧縮天然ガス)化や、充填ステーション設置に対する補助、タクシーのエコカー化に対する助成を行い、4年以内に1割をエコ化します。 2010年度より実施 予算：3000万円



放置自転車を無くします。  
まず、駅前の駐輪場を整備します。そして、環境にやさしい自転車利用を促進します。

4年以内の実現

土日・春秋の観光渋滞を解消するために、世界遺産ゾーンへの乗用車流入を規制する方法を早急に確立します。

歴史的な景観を守るために、奈良町の無電線化に取り組みます。

4年以内の実現に向け、2009年度内に検討を開始します

家庭用ソーラーパネル設置を補助します。

国の補助7万円/KWに加え、市独自の補助5万円/KWを実施します。クリーンエネルギーでCO<sub>2</sub>排出量を低減します。 期限：2010年度より実施 予算：500万円

街の商い繁盛プロジェクト、はじめます。

郊外の大型店に流れる消費を街中で引き止めるため、歴史的景観・街並みを保存し、歩いて楽しめる観光地としての奈良をPRします。

2010年度より実施 予算：500万円

ゴミのない商店街にします。

閉店後に放置された商店街のゴミを観光客の目に触れない場所に一括集積。世界遺産都市として恥ずかしくないゴミ対策をすぐに実行します。



「奈良版1%条例」を制定します。

個人住民税の1%を、自分の選んだ団体やテーマへ寄附できる条例を制定し、税の使い道に自分の意思が反映するしくみをつくります。また、NPO・ボランティアグループの持続的な活動展開を支援します。 期限：2010年度より実施 予算：2500万円

コミュニティビジネスを支援します。

奈良の地域特性を活かしたコミュニティビジネスを支援、新たな雇用を創出します。また地域課題の解決とビジネスを融合させた社会起業家も支援します。 2010年度より実施 予算：500万円

市民による自治を支援します。

NPO・ボランティアや、地元大学、商店街等、地域の資源を連携させて、自分たちで街を良くしよう、元気にしようという動きを活性化します。行政がすべて担う時代から、市民による自治の支援にシフトします。



世界遺産大学を開講します。

奈良に暮らす人が世界に誇る奈良の魅力を再発見する学びの場を創ります。また、1300年に渡り、世界遺産を守り続けてきた知恵を世界に発信していきます。 2010年度より実施 予算：1,000万円

「観光産業創業支援ファンド」を設立します。

新たに観光関連産業を立ち上げようとする事業者に対し、ビジネスプランコンペを実施。入賞者には専門家による経営指導等、積極的なバックアップを行います。 2010年度より実施 予算：500万円

「奈良市第4次総合計画」(2011年～20年)を、市民参加で作ります。



皆さんのアイデア、ご意見、ご感想など、どしどしお寄せ下さい。

仲川げん後援会 〒630-8224 奈良市角振町13 TEL. 0742-24-7818 / FAX. 0742-24-7819

✉ info@nakagawagen.net ホームページ <http://www.nakagawagen.net/>



# 奈良マニフェスト※

## 新しい風を生活に送り

# 込む3大〇宣言

## 仲川げん

**仲川げん プロフィール** 1976年(昭和51年)奈良県生まれ。北大和(現奈良北)高校を経て、1998年立命館大学経済学部卒業。帝国石油(現国際石油開発帝石)株式会社を経て、2002年より、NPO法人奈良NPOセンターで勤務。県内NPOの活動支援を行う一方、子どもの体験プログラムや学びを通じた地域活性事業に取り組む。現場で活動する中、社会を抜本的によくするには、政治や行政を変革する必要があると強く感じ、政治の道を志すことを決意。奈良県少子化対策推進委員会委員ほか。共著「赤ずきんと新しい狼のいる世界～子どもの安全・保護と自立のはざまで～」(2008年・洋泉社)



### ゼロ宣言1

行政のあり方を市民目線で見直し、市民がド真ん中の奈良市政をつくります。350億円もの事業費が見込まれるゴミ処理場移転事業など、総額650億円にもものぼる大型箱モノ事業をゼロベースですぐに見直します。



### ゼロ宣言2

日々のくらしの安心・安全を守ります。駅前保育所5カ所を2年以内に設置し、待機児童ゼロを実現します。医師・看護師不足を解消するとともに病床をフル稼働し、4年以内にたらい回しゼロを実現します。



### ゼロ宣言3

奈良の基幹産業である観光を、人と自然に優しい形に変えます。世界遺産ゾーンへの車の流入を抑制する方法を早急に確立します。

※マニフェストは、私と市民の皆さんとの約束です。私は現場感覚を第一に、市民の皆さんの声を聞きながら、生活(くらし)第一の奈良づくりに挑戦します。約束したことは、必ず実現し、毎年、実行状況を検証して、市民の皆さんにお知らせします。私は、市民の皆さんの声に耳を傾け、しがらみのない若い力で、新しい風を奈良に送り込みます。

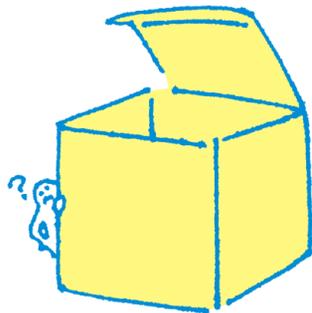


### ゼロ宣言1

しがらみ・利権政治と決別し、徹底した行財政改革を行います。行政のムダを徹底的に洗い出し、将来への負担を減らします。本来の行政のあるべき姿を問い直し、市民のための行政を取り戻します。

#### 総額650億円の大型箱モノ事業を見直します。

現在進行中のゴミ処理場移転事業などの大型箱モノ事業が、本当に市民生活に必要なものかを検証し、規模、内容、コストなどの面からすぐに見直します。



#### 不要な事業を廃止・縮小し、37億円の政策予算を生み出します。

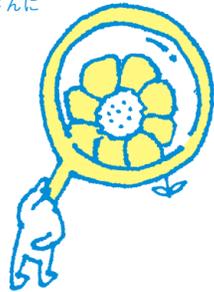
前例踏襲で続けてきたすべての事業を対象に、市民の皆さんと一緒に公開事業仕分けを行います。ゼロベースですべての事業の要・不要、優先順位やコストを見直すことにより、2009年度一般会計予算額1,236億円の3%にあたる37億円の政策予算を生み出します。2010年度予算に反映

#### 天下り根絶。外郭団体は整理統合します。

機能が重複する施設や時代のニーズに合わない外郭団体は見直し、市職員による天下りは禁止します。2010年度より実施

#### 行政を、「見える化」します。

議員の口利きや市職員への働きかけ行為については、文書で記録し、徹底した情報公開を行います。また、予算の編成過程を明らかにし、どのような優先順位に基づいて事業が実施されるのかを市民の皆さんに積極的に説明します。2009年度より実施



#### 市長の退職金を廃止します。

市長退職金(1期3,450万円)をはじめ、副市長など特別職の退職金を廃止します。また市長の多選禁止条例を制定、慣れ合いや癒着を防ぎます。1期日より実施

#### 公用車を大幅に削減します。

2009年度中に、現在724台ある公用車の要・不要を見極め、削減します。



#### 職員の人数、人件費を見直します。

職員を適材適所に配置するとともに、早期退職制度の導入などにより職員数を最適化します。各種手当についても、市民感覚で納得のいくものに限定します。

2010年度より実施

#### 「しがらみ公共工事」を禁止します。

市長や市議会議員、その三親等以内の親族が経営する企業への公共工事等の発注を禁止する政治倫理条例を制定します。



#### 職員養成塾を開きます。

地方分権や道州制の導入を念頭に置きながら、これからの自治体職員に求められる能力を養成します。2010年度より実施 予算500万円



#### 外部の人材を活用します。

高い専門性を持った外部人材を積極的に登用することで、ご都合主義に風穴を開け、職員専門性を高めます。人事評価にも外部の視点を取り入れます。2010年度より実施

#### 各部長と、マニフェストを結びます。

市長が市民と約束したマニフェストを部局ごとに推進するため、市長・部長間でマニフェストを結びます。目標の達成度や評価をしっかりと行います。2010年度より実施



### ゼロ宣言2

安心して生活できる街をつくります。子育て、教育、医療の分野に優先的に予算をつけ、生活(くらし)を守る奈良市政を実現します。



#### 2年以内に、保育所待機児童をゼロにします。

市内の主要駅に駅前保育所を5カ所設置します。既存の市立保育園、幼稚園についても、病児保育や、午前7時から夜7時までの延長保育など、多様化する保育ニーズへのサービスの拡充を図ります。2011年度より実施 予算:6億円



#### 助産師・保健師を、身近に置きます。

助産師・保健師が、奈良市男女共同参画センター・西部公民館に常駐し、赤ちゃんの成長や母乳育児などについての相談が気軽にできる体制を整えます。各公民館も月1回訪問し、きめ細かい産後ケアを実施し、安心して子育てできる街をつくります。

2010年度より実施 予算:1,500万円

#### 医療費補助の対象を、中学生まで広げます。

乳幼児に加え、医療費補助(通院・入院)の対象を、中学生(15歳)まで広げます。

2011年度より実施 予算:4億円

#### 4年以内に医師と看護師を50名増やします。

病院のたらい回しが起きない地域医療体制を構築します。医師、看護師の労働環境を向上し、独自の研修プログラムを実施します。働きやすさ日本一の公立病院をめざします。また、奈良市出身の医学生への奨学金制度等により、奈良の医療を守る人材に投資します。

2013年度までに実現 予算:3億円



#### ずっとこの街で。安心介護の街にします。

小規模多機能型居宅介護施設を中心に、医療・介護・福祉の連携により高齢者が最期まで尊厳を持って生きられる街をめざします。小規模多機能施設の開所に最大300万円の支援を行います。2010年度より実施 予算:3,000万円

#### 中学校でも、地産給食を実施します。

健康で安心・安全な食を提供するため、小学校に加え中学校でも給食を実施します。食材は、地元産農産物を30%以上使用することをめざします。

4年以内に実施できるよう、すぐに検討を開始

#### 地域で決める「学校予算」、はじめます。

図書や楽器の購入やピオトープの整備、ゲスト講師や外国語指導員の招聘等、学校の希望や地域事情に合わせて使い道が決められる予算を設けます。

2010年度より実施 予算:1億円

#### 小学校のすべての学年を、30人学級にします。

4年以内に実現 予算:4億円

